



[様式第3号]

資料提供年月日	令和4年7月12日	
問い合わせ先	課名	オリエント美術館
	電話	直通 232-3636 内線
担当者	職名・氏名	館長・横田さなえ
	職名・氏名	主査学芸員・須藤寛史

広報連絡

- 1 件名 特別展「ヒンドゥーの神々の物語」開会式・内覧会を開催します
- 2 趣旨 オリエント美術館では特別展「ヒンドゥーの神々の物語」を令和4年7月16日（土）から9月11日（日）まで開催します。一般公開に先立ち、開会式及び内覧会を行います。
- 3 日時 令和4年7月15日（金）14時～（式典は30分程度）
- 4 場所 オリエント美術館中央ホール（北区天神町）
- 5 内容 13:00 開場
14:00 開式 主催者・来賓あいさつ
14:25 テープカット
14:30 学芸員による展示解説（来場者向け、30分程度）
自由鑑賞
17:00 閉館
- 6 備考
 - ・ 招待者のみの式典・内覧会です。
 - ・ 式典の前後は、13時の開場から17時の閉館まで展示場を自由に鑑賞及び撮影いただけます。
 - ・ 学芸員による展示解説には報道関係の皆様もご参加いただけます。
 - ・ 展示内容についての個別の質問は、学芸員が対応いたします。
 - ・ 特別展の概要については、別添のチラシをご参照ください。

特別展「ヒンドゥーの神々の物語」前半のイベント

- ・ 7/16（土）学芸員によるギャラリートーク 14時
- ・ 7/18（月・祝）インド古典舞踊公演「神話を踊る」 11時、14時
- ・ 7/23（土）講演会「神々とともにある暮らし」 13時30分
- ・ 8/1（月）ヒンドゥー神話のカラクリおもちゃを作ろう！ 10時、13時30分



株式会社 岡住 FAVOL プレゼンツ
SAIT-YAKKEN GAWA

HINDU GODS AND GODDESSES ACROSS TIME

神々の物語

ヒンドウの

インド独立75周年・日印国交樹立70周年



羨望自在!

2022.7/16 土 → 9/11 日

岡山市立オリエント美術館

開館時間 | 9:00~17:00 ※入館は午後4時30分まで

休館日 | 月曜日 ※7月18日(海の日)は開館し、7月19日(火)は休館

入館料 | 一般1,000(800)円、65歳以上の方・高校/大学生800(600)円、小中学生500円

※()内は前売り料金、20名以上の団体は各200円引 ※障害者手帳をお持ちの方とその付添の方1名は無料 ※その他各種割引は当館へお問い合わせください。
*前売券は当館受付、当館周辺ギャラリー、プレイガイド、コンビニ店頭でお求めください。
セブンチケット(セブシコード095-696) / ローソンチケット(Lコード61318) / チケットぴあ(Pコード686-120) ※前売券の販売は7/15までです。

主催 | 岡山市立オリエント美術館、RSK山陽放送

協力 | 在大阪・神戸インド総領事館

後援 | 岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市連合町内会、岡山市連合婦人会、岡山市PTA協議会、公益社団法人岡山県文化連盟、岡山オリエント協会、岡山市立オリエント美術館友の会、山陽新聞社、朝日新聞岡山総局、読売新聞岡山支局、毎日新聞岡山支局、中国新聞徳後本社

特別協賛 | 株式会社 岡住 FAVOL



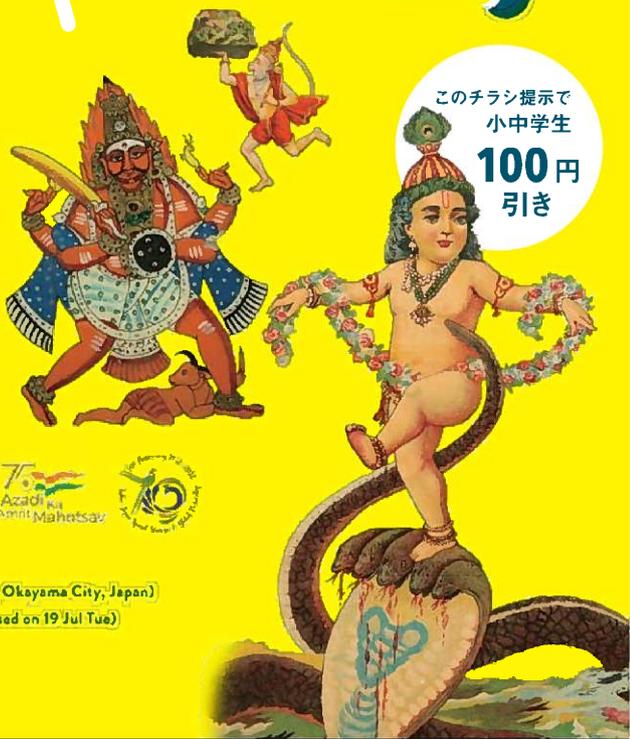
16 July - 11 September, 2022 Venue: Okayama Orient Museum (9-31 Tenjin-cho, Okayama City, Japan)

Open 9:00 - 17:00 (Last admission is 30 minutes before closing) Closed on Monday (Open on 18 Jul Mon., closed on 19 Jul Tue)

Tickets: Adult ¥1,000 (800), 65 or older, College and High school students ¥800 (600), Elementary and junior high school students ¥500

() shows a price for an advanced ticket or an individual in a group of 20 or more.

このチラシ提示で
小中学生
100円
引き



ヒンドゥーの神々といえば、どのような姿を思い浮かべるでしょうか。たとえば、破壊と創造の神シヴァ、変幻自在な神ヴィシュヌ、美しい女神ラクシュミーなど、神話とともに伝えられてきたその姿と超絶パワーは、古代から人々の熱烈な信仰を集めてきました。果たしてこうした神々のイメージは、いつ・どのようにして広がったのでしょうか。

本展は、長年にわたりインド大衆宗教図像を蒐集してきた黒田豊コレクションを核に、福岡アジア美術館、古代オリエント博物館、平山郁夫シルクロード美術館などのコレクションを加え、ヒンドゥーの神々のイメージの変遷を古代から現代までたどる展覧会です。

古くは先史インダス文明の出土品や女神像にはじまり、17世紀以降の優美なインド更紗やガラス絵、大衆文化を彩った民俗画、ヴァルマー・プリントと呼ばれる印刷物、現代イラストレーションなど、出品作品は立体・絵画・印刷物・写真など500以上に及びます。また、こうした神々のイメージは、時代とともに表現される素材・技法・メディアが異なり、それを礼拝する人々の信仰のありようも変化してきました。

本展では、これらの貴重な作品・資料を通して、インド文化の基盤となり、篤く信仰されてきたヒンドゥーの神々とその豊穡なる世界像をさまざまな角度から紹介します。

- 序章** インド世界の誕生—土・石・金属の造形
- 第1章** 煌びやかなイメージ—更紗・細密画・ガラス
- 第2章** 民衆に愛される神々—民俗画・刺繍・祭り
- 第3章** 印刷術とグローバル時代の到来—書物・オレオグラフ・陶磁器
◇日本・ヨーロッパから輸出された品々
- 第4章** ヒンドゥーの神々の諸相
◇ヴィシュヌ神と叙事詩 ◇シヴァ神とその眷属 ◇女神とアプサラス
- 第5章** 21世紀へ—物語は語り継がれる



1.《コブウシ土偶》前2200-前2000年、古代オリエント博物館 2.《クリシュナとバララマ》19世紀後半
3.《ドゥルガー》20世紀前半、黒田豊コレクション 4.《サラスヴァティー》19世紀末～20世紀初め、黒田豊コレクション
5.《ラーマの一族》20世紀前半、福岡アジア美術館(黒田豊コレクション) 6.ムクシュ・シン《18日間》2010年、作家蔵
[表南掲載作品(左上より時計回り)] 1.《シヴァ》20世紀前半、黒田豊コレクション 2.T.K.ブットサミ《ヴィシュヴァールーパ》19世紀末-20世紀前半 3.《シヴァ》19世紀末、黒田豊コレクション 4.ラージャー・ラヴィ・ヴァルマー《ラクシュミー》19世紀末-20世紀前半 5.《クリシュナとカーリヤ》19世紀末-20世紀前半 6.《ハヌマーン》19世紀末-20世紀前半 7.《シヴァ》19世紀末-20世紀初頭、福岡アジア美術館(黒田豊コレクション)
8.《女性像奉敬板》前100-後100年頃、平山郁夫シルクロード美術館 ※所蔵先表記のない場合は、福岡アジア美術館の所蔵

関連イベント

※問合せ、申込みはオリエント美術館へ

ヒンドゥー教の世界を知る講座

神々とともにある暮らし

—現代ヒンドゥー教徒の生活の現場から—

ヒンドゥー教の神がみの絵画や像が、庶民の生活の現場で「生きて」いる姿を紹介し、現代ヒンドゥー教徒の暮らしや世界観に迫ります。

日時 | 7月23日(土) 13時30分-15時30分

場所 | オリент美術館地下講堂

講師 | 三尾稔さん(国立民族学博物館教授)

聴講料 | 500円(友の会会員300円) ※要申込

インド美術のおもしろ裏ばなし

多彩な姿で表現されてきたヒンドゥーの神がみ。その裏側で作り手たちはどのように神話世界を造形化してきたのでしょうか。19世紀以降のガラス絵や石版画など、その時代背景とともに解説します。

日時 | 8月27日(土) 13時30分-15時30分

場所 | オリент美術館地下講堂

講師 | 中尾智路さん(福岡アジア美術館学芸員)

聴講料 | 500円(友の会会員300円) ※要申込

踊りしてみるヒンドゥー神話の世界

ヒンドゥーの神話世界をモチーフにしたインド古典舞踊の公演を開催します。

神話を踊る

日時 | 7月18日(月・海の日) 11時-、14時-(各回30分程度) ※申込不要、入館料のみ

踊り | 福田麻紀さん(バラタナティヤム・ダンサー)

和の架け橋—能舞台上で舞うインド古典舞踊—

日時 | 9月10日(土) 15時-16時40分

場所 | 能楽堂ホール tenjin9 (岡山市北区天神町9-24)

※要申込、無料

踊り | Nalini Toshniwalさん(舞踊家)、

金澤倫子さん(南インド古典舞踊家)

その他のイベント

ヒンドゥーの神さま缶バッジをつくろう!

神さまぬり絵に自分で色をつけてオリジナル缶バッジを作ります。

日時 | 8月の土曜日・日曜日 13時30分-15時30分

※申込不要、入館料+材料費100円

学芸員によるギャラリートーク

学芸員が展覧会をご案内いたします。

日時 | 7月16日(土)、8月7日(日)、20日(日)

14時-15時 ※申込不要、入館料のみ

イベントの詳細・実施については、
当館および当館ホームページにて
ご確認ください。----->



Okayama Orient Museum 岡山市立オリエント美術館

〒700-0814 岡山市北区天神町9-31 TEL 086-232-3636 FAX 086-232-5342
9-31 Tenjin-cho, Okayama City, Japan <https://www.city.okayama.jp/orientmuseum/>

【交通案内】

JR岡山駅東口より路面電車「東山」行きで約5分、「城下」下車、左手すぐ。

JR岡山駅東口より徒歩15分。

*当館には来館者用駐車場はありませんが、市営天神町駐車場をご利用の場合、受付にて割引券(1台1回につき100円)を交付します。



ヒンドゥーの
神々の物語

Pokke

受付にて販売中



音声ガイド

Audio guide



ナビゲーター
関智一

スマートフォンを利用します。

スマートフォンをお持ちでない
お客様は、レンタル端末を
お貸出しいたします。
受付にてお声がけください。



＼アプリ購入は610円なので受付で購入がオトク！／

販売
料金 **500** (税込) 円

ガイド
時間 約 **45** 分